

社会福祉法人岩手県社会福祉事業団
令和 7 年度みたけの杜運営協議会報告

I 開催日時 令和 7 年 11 月 27 日（木）14 時 00 分から 15 時 20 分まで

II 開催場所 みたけの杜（みたけホール）

III 出席者

地域連携推進会議委員 所属及び職名	みたけの杜 所属及び職名
滝沢市 福祉部 地域福祉課 課長	社会福祉法人岩手県社会福祉事業団 副理事長
岩手県立盛岡みたけ支援学校 校長	みたけの杜 施設長
滝沢消防署 署長	みたけの杜 副施設長
滝沢市民生児童委員連絡協議会 主任児童委員	みたけの杜 業務係長
滝沢市国分自治会 会長	共同生活事業所「みたけ」 所長
盛岡市月が丘三丁目町内会 会長	地域生活支援センター「かんばす」 副所長
地域防災協力隊 隊長	放課後等デイサービス 副所長
みたけの杜利用者の家族 保護者会長	相談支援事業所「みたけ」 上席相談支援員
共同生活事業所「みたけ」利用者の家族 保護者代表	社会福祉法人岩手県社会福祉事業団 課長
みたけの杜利用者代表 自治会会長	社会福祉法人岩手県社会福祉事業団 主事
共同生活事業所「みたけ」利用者代表 自治会副会長	
みたけの杜グループ職員代表 生活支援員	

IV 議事等

1 開会

2 岩手県社会福祉事業団副理事長挨拶

3 運営協議会委員・みたけの杜職員の紹介

4 座長選出

滝沢市国分自治会会長が座長に選出。

5 議題

(1) 令和 6 年度運営協議会 意見と回答

昨年度の書面会議で委員から頂いた意見について、みたけの杜副施設長が口頭で対応状況を説明。

ア 地域交流の周知について

・「地域交流の企画内容が市民に十分伝わっていない。広報誌やホームページで周知してはどうか」との意見。

⇒広報誌「みたけだより」（年 2 回発行）をホームページに掲載しはじめたこと、今後も秋祭りや清掃活動などの地域交流を広報誌やホームページで積極的に紹介していく旨を説明。

イ おもちゃ図書館の宣伝について

・「広く宣伝してはどうか」との意見。

⇒公共施設へのチラシ設置に加え、今年から滝沢市の 1 歳 6 か月健診時に毎月移動図書館

を実施、口コミによる新規利用者也増加。令和8年1月には未就学児対象の親子レクリエーションを開催予定。今後も地域に身近な施設となるよう取り組みを継続する旨を説明。

ウ 利用者対応について

- ・「施設を見学した際に、自傷行為なのか額から出血しているように見えた利用者がいた。見学者を待たせても利用者対応を優先すべきではなかったか」との意見。

⇒利用者の明確な特定には至らなかった。想定されることとして、職員が関わることで更に気分が高揚し自傷行為が強まる場合は、支援方法として落ち着くまで見守る対応を選択することがあること、出血時は必ず看護師が処置をしていることを説明。利用者の安全確保を最優先とする意見を真摯に受け止め、緊急時にも迅速な対応ができるよう努める旨を説明。

(2) 令和7年度みたけの杜運営状況

令和6年度みたけの杜の事業報告及び令和7年度みたけの杜事業計画について、みたけの杜施設長が説明。

(3) 令和7年度みたけの杜グループ事業内容の紹介

パワーポイントのスライドによりそれぞれ事業内容を紹介。

- ・みたけの杜
- ・地域生活支援センター「かんばす」
- ・放課後等デイサービス「ぼけっと」「とれいん」「くれよん」
- ・相談支援事業所「みたけ」
- ・みたけの郷指定居宅介護支援事業所

【意見・質問】

放課後等デイサービス「とれいん」「くれよん」について

- ・「二つの事業所が隣同士なのになぜ別々に運営しているのか。経営面を考えれば一本化し利用者を増やし、役職員を減らすのが効率的ではないか」との意見。

⇒副所長から、両事業所は隣接しているが設立年月日が異なる独立事業所であり、それぞれの利用定員に応じた職員配置基準があることを説明。

⇒施設長から、質を重視した個別支援が必要であり、厚生労働省も少人数に多くの職員を配置する事業所を高く評価していることを説明。

⇒経費面についても、副所長が保育士を兼務するなど効率化を図っていることを説明。

みたけの杜生活介護「ばれっと」について

- ・職員配置や土曜日の活動について質問。

⇒施設側から、1日7～8人程度の職員を配置、安全面を考慮して利用者に部屋を移動してもらった場合があることを説明。土曜日の人数も変わらず、利用者が楽しみにしている活動を提供していることを報告。

(4) みたけの杜苦情解決の取り組み状況

苦情解決の取り組み内容、苦情受付状況及びその対応、苦情につながりそうだったと考えられる案件と対応、取り組みの課題についてみたけの杜副施設長が報告。

※意見等なし

(5) 意見交換

欠席委員からの意見紹介（書面提出）

- ・みたけの杜秋祭りに参加し、大盛況であった。元村南自治会では若手の担い手不足によりイベント開催が難しくなっているため、祭りに限らず共同開催できれば嬉しい。町内には様々な趣味を持つ人がいるので、今後の交流につなげてほしい。
- ・法誓寺自治会の運動会にグループホームの方が参加した。松の木ハウスに関するチラシを回覧板に掲載するなど、協力していきたい。

地域交流について

- ・月が丘三丁目町内会では、昨年子ども中心の行事を再開。夏祭り、焼き芋会を開催し総勢 200 名程が参加。来年度はみたけの杜利用者にも声掛けするので参加いただきたい。
- ・みたけ支援学校では避難訓練の実施を通し避難の仕方等育ってきたと感じている。5 月実施したみたけの杜との合同防災訓練は有効であり、継続を希望。利用者との親交も深めたい。また、放課後等デイサービス事業所との意見交換会を昨年度開催。今後も連携が必要と考えており、担任や担当者を中心に 12～1 月に集まる予定。参加をお願いしたい。

(6) その他

特になし

(7)みたけの杜施設長挨拶

6 閉会

■みたけの杜見学状況

日時	令和 7 年 11 月 27 日（木） 16：30～17：00※地域連携会議終了後
参加者（人）	4 人
場所	みたけの杜 （レストランくらかけ、寮棟リビング、利用者居室）
参加者からの主なコメント	・施設内はとても明るく居室も個室であり「快適に暮らせるのではないかな」 「スプリングラーも設置され、安全」といった感想が寄せられた。 ・リビングにいる利用者と会話を交わされる委員もいた。